

信州大学医学部附属病院 皮膚科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022年12月14日

「爪部メラノーマ診断補助プログラムの操作者による堅牢性の検証」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認による医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5710
研究課題名	爪部メラノーマ診断補助プログラムの操作者による堅牢性の検証
所属(診療科等)	皮膚科
研究責任者(職名)	皆川茜(助教)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2024年3月31日
研究の意義、目的	爪甲色素線条の客観的指標の確立に関する学術的研究活動促進のために、我々が開発した爪部メラノーマ診断補助プログラムについて、操作者による堅牢性を検証する。将来的に本プログラムのユーザーとなることが想定される医師を被験者とし、テスト画像等を用いてDI値の測定を行い、DI値測定までの手順やDI値測定を行う画園領域設定、計測されたDI値等を比較し、被験者間での差異を調べる。本研究により、操作者がDI値に及ぼす影響が特定され、プログラムの堅牢性や安全性の確立に役立つ。
対象となる患者さん	2007年1月1日～2022年10月31日までの期間に信州大学医学部附属病院(当院)を受診した、メラノーマおよびその他の疾患による爪甲色素線条の患者
利用する診療記録／検体	臨床画像、診断名、画像撮影機器
研究方法	後ろ向きデータ収集
共同研究機関名(研究責任者氏名)	信州大学医学部皮膚科(責任者:皆川茜)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:皆川茜

問い合わせ先	氏名(所属・職名): 信州大学医学部皮膚科 皆川茜・助教 電話: 0263-37-2647
--------	--

既存の画像や診療記録を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報には、患者様を直接特定できる個人情報に含まれません。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表します。また将来的に医療機器等の開発に用いることがあります。しかし、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

また収集する情報の精査過程において、カルテなどの診療情報を信州大学の本研究の担当者が閲覧させていただくことがあります。その場合も、個人情報の取り扱いには十分配慮し、外部に個人情報を持ち出すことはありません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

画像利用への不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。

不同意の場合には、当院お問い合わせ先または皮膚科主治医までご連絡ください。